



公明党
永尾 ながお
春文 はるふみ



子ども福祉医療費の高校生世代への支給の在り方

問 子どもの保険診療に係る自己負担額を一部助成する子ども福祉医療費の高校生世代への支給方法が、病院窓口で一旦自己負担額の全額を支払い、後日市に請求する償還払いとなっているが、中学生以下と同様に請求手続が不要な現物給付の方法に見直す考えはないか。

答 高校生世代については、令和5年度に県の制度として償還払いでの助成制度が創設されたことから、本市においても償還払いにより実施しており、償還払いの制度については3年間試行的に実施し、検証を行うこととされている。市としては、市民の利便性、負担軽減のためには現物給付が望ましいと考えていることから、検証の際には県に要望するとともに、市においても導入に向けて検討していききたい。また、国による制度創設についても強く要望していく。



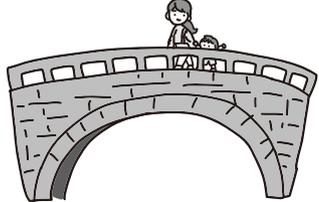

市民クラブ
木森 きもり
俊也 としや



阿弥陀橋の復元

問 市指定有形文化財の中島川阿弥陀橋については、長崎大水害後の災害復旧事業に伴い、早期に復元することを条件に解体されたが、いまだ復元されず、石材は市有地にて保管されている状況である。令和4年6月議会において復元場所の再検討を行う旨の答弁があったが、その後の進捗を伺いたい。

答 令和4年10月に文化財審議会を開催し、改めて復元の可能性を検討するため、当時復元場所として望ましかった中島川水系以外の場所も含めて新たな発想での考え方ができないか意見を伺ったところ、復元の可能性を高めるため、広く検討してよいのではとの意見をいただいた。これを受けて、今後は、中島川水系以外も視野に、改めて関係部局への照会等を行い、復元場所について再検討を進めていく。




自民創生
澤勢 みずき さわせ



長崎駅周辺の交通対策

問 駅舎南側の旭大橋側道を渡る横断歩道は、歩行者と車による接触事故や歩行者待ちによる交通阻害のリスクがあるため、信号機の設置やペDESTリアンデッキ（高架型の歩道）の導入などの対策が必要と考えるが、本市の見解を伺いたい。

答 信号機の設置については、県及び県警など関係者との協議において、隣接する信号交差点との距離が短く、車両の滞留区間が確保できないこと等により、設置はできないとの結論が出されている。一方で、ペDESTリアンデッキについては、元船方面へ向かう歩行者の迂回と信号待ちの解消に加え、車と歩行者の分離が図られることで安全で円滑な交通の確保に寄与すると思われることから、その具体化に向けて検討していききたい。




日本共産党
大石 大石 おおし
ふみき



江川マリンスポーツセンター閉館に伴う対応

問 令和5年9月議会で、南部地域における子どもたちの水泳環境の整備を求める陳情が出されたが、12月末の閉館を控え、どう進展しているのか。

答 市内の複数の民間や市営プールの管理者と協議等を行い、送迎バスの運行は他の地域との公平性の観点などから困難な面があるが、水泳教室等への子どもへの受入れは若干の可能性のあることを陳情者へ伝えるとともに、他のプールの案内チラシをマリンスポーツセンター内に設置し、利用者への情報提供も行った。

また、マリンスポーツセンターでは近隣の小中5校の水泳授業を受け入れているが、来年度は、必要に応じて修繕を行った自校プールの使用、または近隣の学校を共同利用することとしている。今後可能な範囲で、利用者へ寄り添った対応に努めていきたい。



概要

一般質問

常任委員会の
主な審査内容

議決結果

令和4年度決算の
主な審査内容

令和4年度決算
議決結果

令和5年の
長崎市議会

議会の動き、
人事、陳情等